

平成 26 年度プリムラ利用状況 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

平成 26 年度プリムラ利用状況													
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開設日	21	20	21	22	17	18	22	18	19	19	19	22	238
補助	114	87	121	122	71	77	70	81	102	95	63	71	1074
自主	0	2	1	0	0	4	0	1	9	0	4	3	24
合計	114	89	122	122	71	81	70	82	111	95	67	74	1098

平成 26 年 4 月 4 月の利用者数は 114 名で 3 月に引き続き 100 名を超えました。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 29 名 (25%)、2 位は 2 才児の 23 名 (20%)、3 位は 5 才児の 20 名 (18%) でした。4 才児と 5 才児の合計 43 名のうち約半数の 23 名が B 型インフルエンザでした。

疾患別順位の 1 位は今月もインフルエンザ (42 名、全体の約 37%) でした。先月に比べてその割合は約 1/2 になり、流行は終息に向かっています。2 位は上気道炎の 24 名 (21%)、3 位は嘔吐・下痢を伴う胃腸炎の 19 名 (17%) でした。

平成 26 年 5 月 5 月の利用者数は 89 名で先月よりやや減りました。連休明けから暫く利用者が少なかったのが原因です。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 21 名 (24%)、2 位は乳児の 17 名 (19%)、3 位は 4 才児の 16 名 (18%) でした。1 才児と乳児の割合が多く、通常の傾向に戻ってきました。

疾患別順位の 1 位は上気道炎の 24 名 (27%)、2 位は嘔吐・下痢を伴う胃腸炎の 18 名 (20%)、3 位はアデノウイルス感染症の 13 名 (15%) でした。インフルエンザ B 型は 1 名で流行は終息しました。

平成 26 年 6 月 6 月の利用者数は 122 名でプリムラ開設以来最多の利用者数となりました。月間利用率は 96.8% でした。年齢別順位では 2 才児の 33 名 (27%)、0 才児の 32 名 (26%)、1 才児 4 才児の 29 名 (24%) でした。0 才から 2 才児までで全体の 77% を占めます。

疾患別順位では咽頭炎の 35 名 (29%)、上気道炎の 25 名 (20%)、ヘルパンギーナの 14 名 (11%) でした。この他にアデノウイルス感染症、溶連菌感染症、喘息様気管支炎などの呼吸器系疾患もあり、呼吸器系疾患が全体の約 80% を占めました。

プリムラは毎年計画を立てて製作活動を行っています。今年も 4 月から 5 月にかけて「こいのぼりの製作」を行いました。主眼は 1) 日本の年中行事に興味、関心を持つ、2) こどもの個性を自由に表現し製作を楽しむことです。こどもの体調や病状に配慮してあまり負担にならないように、スタッフがパーツなどを事前に用意します。これをのりで貼ったりシールを付けたりにして完成させます。こどもの発想を尊重して楽しく製作に取り組めるように保育しています。完成した作品はこどもたちが嬉しそうにお家に持って帰りました。

パーツ



作品例



平成 26 年 7 月 7 月の利用者数は 122 名で 6 月に引き続き最多の利用者数となりました。年齢別順位では 1 才児の 29 名 (24%)、2 才児の 27 名 (22%)、0 才の 20 名 (16%) でした。0 才から 2 才児までで全体の約 2/3 を占めます。

疾患別では咽頭炎の 63 名で全体の約半分 (52%)、上気道炎の 17 名 (14%)、ヘルパンギーナの 14 名 (11%) でした。プリムラでの咽頭炎は 5 月から増え始め、7 月にピークに達したようです。東京都感染症情報センターのレポートによると都内の咽頭炎の流行のピークは過ぎているようですが、保育園に通う乳幼児の流行はなお続いているようです。

平成 26 年 8 月 8 月の開設日は 17 日であったこともあり利用者数は 71 名でした。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 29 名 (41%)、2 位は 2 才児の 18 名 (25%)、3 位は 4 才児の 8 名 (11%) でした。1 才児の割合が特に大きくなり、このうち 16 名が咽頭炎でした。

疾患別順位の 1 位は咽頭炎の 34 名で全体の約半分 (48%) を占めました。この傾向は 7 月と同じです。2 位は上気道炎の 19 名 (27%)、3 位はヘルパンギーナの 5 名 (7%) でした。夏に多い咽頭結膜熱 (プール熱) は 3 名でした。

平成 26 年 9 月 9 月の利用者数は 81 名に増えました。年齢別順位の 1 位は 2 才児の 20 名 (25%)、2 位は 5 才児の 19 名 (23%)、3 位は 1 才児の 13 名 (16%) で順位に変動がありました。2 才児のうち咽頭炎が 9 名、上気道炎も 9 名、ヘルパンギーナが 2 名で全て呼吸器系の疾患でした。

疾患別順位の 1 位はやはり咽頭炎で 37 名 (47%)、2 位は上気道炎で 27 名 (33%)、3 位は喘息様気管支炎の 6 名 (7%) でした。これらの呼吸器系疾患で全体の約 90% を占めました。

平成 26 年 10 月 プリムラは近くに新設されたビルディングに 10 月初めに引っ越しました。保育室や隔離室 (2 室) もこれまでより広くなり、収納庫も充実した結果、より安全で過ごしやすい施設になりました。ビルの 1 階がプリムラと子リス薬局、2 階が佐藤クリニックで、医薬の連携もより密になりました。職員一同、心新たに地域の子育て支援に頑張る所存です。



右側がプリムラの入り口です。左側が子リス薬局です。



プリムラの玄関入口です。広く明るくなりました。
図書もたくさんあります。



プリムラの保育室です。広く明るくなりました。
こどもの活動も広がります。

10月は引っ越しもあり利用者数は70名でした。年齢別順位の1位は1才児の21名(30%)、2位は2才児の19名(27%)、3位は4才児の8名(11%)で順位に変動がありました。

疾患別順位の1位は上気道炎で37名(57%)、2位は咽頭炎で13名(19%)、3位は喘息様気管支炎の12名(17%)でした。これらの呼吸器系3疾患で全体の93%を占めました。

平成26年11月 11月は82名に増えました。年齢別順位の1位は1才児の42名(51%)、2位は2才児の18名(22%)、3位は4才児の9名(11%)で10月と同じ順位でした。

疾患別順位の1位は上気道炎で28名(34%)、2位は咽頭炎で22名(27%)でしたが、3位はRSウイルスの11名(13%)でした。4名ですがインフルエンザA型の病児がおり、1ヶ月以上も早い流行の始まりとなりました。

平成26年12月 12月は100名を超え111名になりました。年齢別では2才児の28名(25%)、1才児の23名(21%)、4才児の14名(13%)で8才児も8名(7%)おり、年齢の高いこどもが多数を占めました。

疾患別ではインフルエンザA型の47名(42%)、胃腸炎【感染性】の29名(26%)、上気道炎の20名(18%)でした。インフルエンザA型は先月の4名から10倍以上に増えており、昨年より1ヶ月も早く本格的な流行となりました。

平成27年1月 1月は95名になりました。年齢別では1才児の29名(31%)、5才児の10名(11%)、4才児の9名(9%)でした。

疾患別ではインフルエンザA型の65名(68%)、咽頭炎の18名(19%)、胃腸炎【感染性】の6名(6%)でした。インフルエンザA型は先月よりも多く、本格的な流行が続いています。このうち1才児が19名と最多ですが、2才児；5名、3才児；6名、4才児；5名、5才児；6名など年齢も広く分布しています。

平成27年2月 2月は67名で1月に比べかなり減少しました。インフルエンザA型の流行が終息しつつあるためです。年齢別では1才児の20名(30%)、5才児の13名(19%)、3才児の7名(10%)でした。

疾患別ではインフルエンザA型の19名(28%)、胃腸炎【感染性】の13名(19%)、咽頭炎の12名(18%)でした。新たにインフルエンザB型が4名おりますが患者の急増はなさそうです。

平成27年3月 3月は74名で2月に比べ若干増加しましたが、昨年と比べると大幅に減少しました。

インフルエンザの流行が急速に終息したためです。年齢別では1才児の23名(30%)、3才児の14名(19%)、2才児の10名(14%)でした。

疾患別では咽頭炎の22名(30%)、咽頭炎の12名(16%)、胃腸炎の11名(15%)でした。

平成26年度の利用者数は1,098名でした。利用者数は平成25年度より若干減りました

が、年間 1,000 名以上の利用が続いています。利用率は 77%でした。全国病児保育協議会に所属する施設の平均利用率 50%台を大幅に上回っています。

プリムラは平成 16 年 4 月開設から、丸 10 年経過しました。平成 27 年 4 月からは、11 年目を迎えます。これからも地域の子育て支援のお役にたてるよう、スタッフ共々、皆様の期待に応えられるように、頑張っていきたいと思えます。宜しくお願い致します。